

【技術解説】

・シーラスたて形直火還元炉	吉野 静人	1-18
・DCアーク炉のアーク現象(7)	南條 敏夫他	1-25
・U. B. Cデラッカプロセスの紹介	二宮 純一他	1-42
・連続鋼板焼鈍設備における恒温保持帯の小型化についての提案	村上 弘二	1-52
・DCアーク炉のアーク現象(8)	南條 敏夫他	2-15
・フルロータリー式鍛造炉の開発	菊地 勇他	2-38
・耐熱鋼のクリーブ現象	野中 勇	2-49
・築炉・振動施工・SVP工法について	山村 隆他	2-58
・DCアーク炉のアーク現象(最終回)	南條 敏夫他	3-25
・真空洗浄機の開発	高橋 庸夫	3-45
・焼結炉とその集中管理システム	本多 敬他	3-54
・真空熱処理炉のHeガス利用の効果と再使用	勝俣 和彦	4-54
・バッチ式熱処理炉におけるシーケンサの応用	小林 邦夫	5-26
・炉内伝熱の基礎(1)	高崎 進	5-36
・炉内伝熱の基礎(2)	高崎 進	6-41
・オートマチックコイルチェンジャ	遠藤 和裕	6-35
・全自動ADI熱処理システム	佐々木敏美他	6-15

【論壇】

・中国鉄鋼業における省エネルギーの回顧と展望	陸 鐘武他	1-5
・労働力不足と外国人研修生	内藤 理	2-3
・FAシステムにおけるネットワーク	田中 圭	3-3
・環境問題と省エネルギー	新田 義孝	4-3
・誘導加熱装置近傍の磁界強度	多氣 昌生	5-3
・我が国におけるオゾン層保護対策	横田 英樹	6-3

【JFRC報告論文】

・副生ガスによるファイバマットバーナの燃焼特性	多田 健他	1-10
・コークス炉ガス中の有機硫黄除去技術の開発	木村 光蔵他	3-19
・燃料炉内直接噴射による低NOx燃焼技術の開発	茂田 英次他	4-12
・工業炉におけるNOx低減技術の開発	竜田 孝司他	5-17

【平成3年度優秀省エネルギー機器受賞特集】

・”メルポアシステム” 鑄造用自動注湯装置	佐藤 二郎他	4-19
・FIPS マットバーナ技術	中村 直	4-28

【海外技術情報】

・スラブ加熱炉における2自由度PID燃焼自動制御システム	李 甲申他	3-66
・熱学小史		
・火と熱と温度(1)	吉田 正彦	4-39
・火と熱と温度(2)	吉田 正彦	5-45
・火と熱と温度(3)	吉田 正彦	6-25

【大学研究室めぐり】

・千葉工業大学金属工学科・界面工学	峯岸研究室	1-59
・東京電機大学理工学部・産業機械工学科 熱・流体研究室	亀岡研究室	2-66
・豊田工業大学工学部機械システム工学科 物性複合工学研究室	新美研究室	3-73
・九州大学工学部材料工学科7講座 構造材料研究室	徳永研究室	5-55
・東北大学金属材料研究所・結晶物理学部門	小松研究室	6-50

【燃焼講座】

・酸素濃度計	中川 優也	1-65
・空燃比制御機器	戸松 三男他	2-75
・工業用バーナにおける設計パラメータの探索	広瀬 靖夫	3-80
・容器内ガスの置換特性について	松尾 護	4-60

【電熱講座】

・静電誘導型トランジスタ(SIT)	龍田 正隆	1-73
・IGBTと応用例	富居 博治	2-81
・高周波電縫管溶接	片之坂 隆	3-89
・IGBTを使用した誘導加熱用電源	濱本 昭浩	5-63
・プラズマCVD法によるダイヤモンド膜合成技術	石堀 宏一	6-59

〔基礎知識シリーズ〕

・ 燃焼技術(8)触媒燃焼	貞森 博巳	1-92
・ 燃焼技術(9)パルス燃焼	豊永 肇	2-94
・ 燃焼技術(10)蓄熱燃焼	仲町 一郎	3-100
・ 燃焼技術(11)表面燃焼	御法川義雄	4-64
・ 燃焼技術(12)酸素富化燃焼	松尾 護	6-70
・ 電力(1)受電契約の仕方	三雲 正志	1-94
・ 電力(2)受電電圧と受変電設備	是成 健司	2-96
・ 電力(3)デマンドコントロール	高田 庸	3-102
・ 電力(4)高調波とその抑制対策	高田 庸	4-68
・ 電力(5)電気炉用電源機器の選び方(1)	松本 克巳	5-72
・ 電力(6)電気炉用電源機器の選び方(2)	松本 克巳	6-78
・ 炉材(3)炉の耐火断熱構造の基礎(1)	吉野 喬雄	1-96
・ 炉材(4)炉の耐火断熱構造の基礎(2)	吉野 喬雄	2-98
・ 炉材(5)れんが積み及びセラミックファイバ施工の基礎知識(1)	安田 博之	3-104
・ 炉材(6)れんが積み及びセラミックファイバ施工の基礎知識(2)	安田 博之	4-70
・ 炉材(7)不定形耐火物施工の基礎知識(1)	安藤 毅	5-70
・ 炉材(8)不定形耐火物施工の基礎知識(2)	安藤 毅	6-80
・ 工業炉の形式 工業炉の形式と材料搬送装置	木下 慶三	6-72
・ 真空(5)真空雰囲気加熱	小田 稔	6-84